



2022年10月4日

各位

会社名 株式会社放電精密加工研究所
 代表者名 代表取締役社長 工藤 紀雄
 (コード番号 6469)
 問合せ先責任者
 役職・氏名 常務取締役
 財務、情報開示担当
 大村 亮
 電話 045-277-0330

2023年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年4月5日に公表いたしました2023年2月期通期（2022年3月1日から2023年2月28日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2023年2月期通期 連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,347	350	310	151	20.93
今回修正予想 (B)	12,088	△249	△259	△240	△33.71
増減額 (B－A)	△258	△599	△570	△391	—
増減率 (%)	△2.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	12,976	634	607	1,413	195.15

修正の理由

2023年2月期通期業績予想につきまして、売上高は、開示数値に対して258百万円の減収見通しであります。その内訳は、放電加工・表面処理事業で328百万円の増収も、金型事業で自動車関連が下期に急激な減産となることから289百万円の減収、機械装置等事業で下期に納入を予定していたプレス機が主要な電子部品の納入遅れで翌期にずれることなどから298百万円の減収であります。

営業利益につきましては、電力をはじめとした動力費や副資材等が想定以上の高騰により全セグメントでコストアップの見通しとなったことに加え、特に下期に入り自動車関連の大幅な落ち込みから599百万円の減益の見通しであります。その内訳は放電加工・表面処理事業115百万円の減益、金型事業411百万円の減益、機械装置等事業205百万円の減益、全社費用の低減による132百万円の経費圧縮であります。

経常利益以下の段階利益につきましては、営業利益の減少の影響などによるものであります。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社において判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上